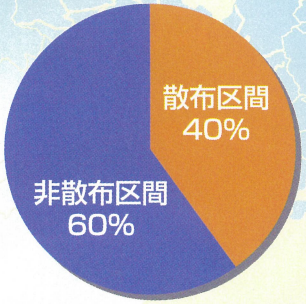
凍結抑制剤は
道路の全線には散布していません。

仙台河川国道事務所が管理する宮城県内の主要な国道（4号,6号,45号,47号,48号,108号の一部）では、延長の約6割には散布していません。



安全・安心に通行できるよう除雪や薬剤散布作業を行っておりますが、冬季はめまぐるしく気象状況が変化します。

急発進、急ブレーキ、急ハンドルは大変危険です。特に坂道やカーブでは必ず減速し、安全運転を心がけましょう。

冬みちの安全運転1・2・3運動

- 1割のスピードダウン
- 2倍の車間距離
- 3分早めの出発

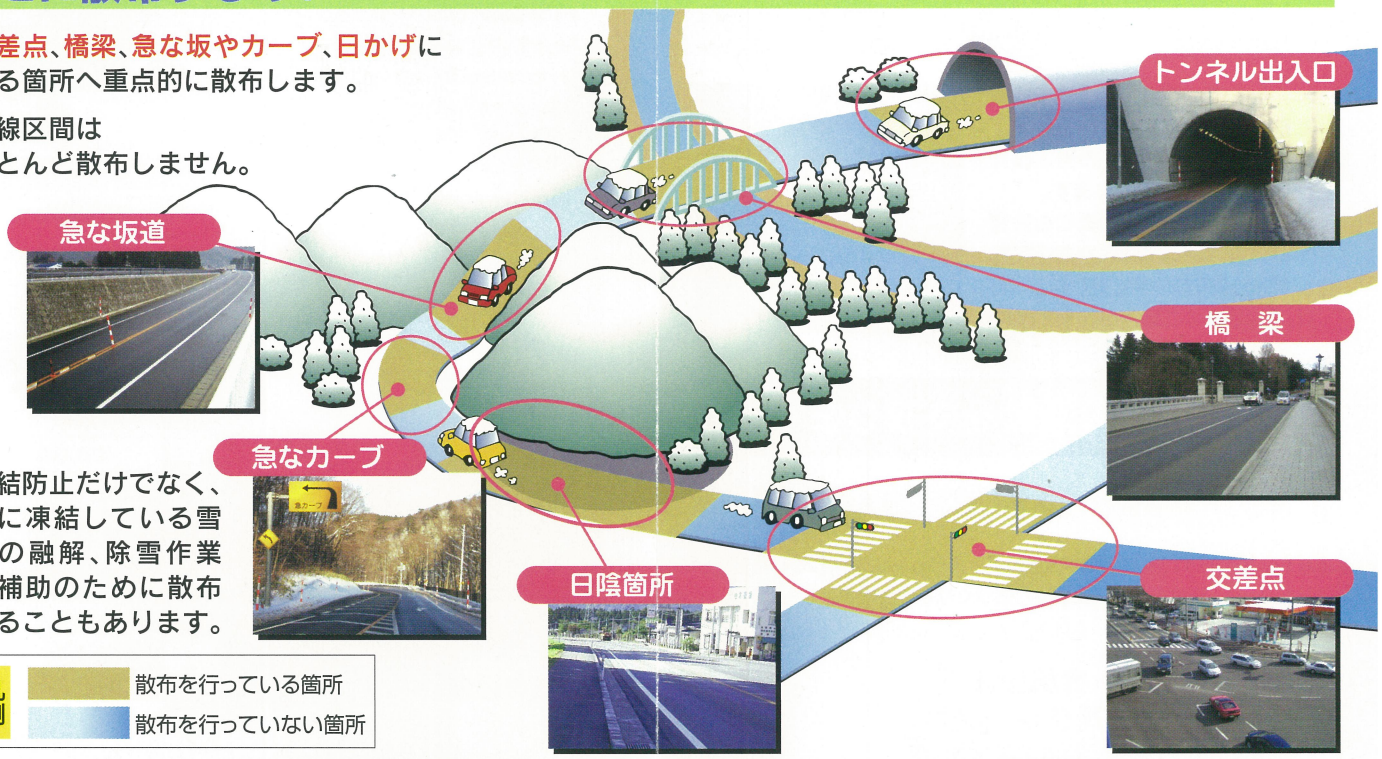
凍結抑制剤とは…

塩化ナトリウム等の塩化物で、
“氷点温度”を下げる効果があります。
（気温が0℃以下に下がっても凍結しにくくなります）

どこに散布するの？

交差点、橋梁、急な坂やカーブ、日かげになる箇所へ重点的に散布します。

直線区間はほとんど散布しません。



凍結防止だけでなく、既に凍結している雪氷の融解、除雪作業の補助のために散布することもあります。

凡例
- 散布を行っている箇所
- 散布を行っていない箇所

いつ散布するの？

パトロールの結果や現況気温、予想気温、天気予報などにより随時判断していますが、朝のラッシュ時間にあわせて、早朝に散布することが多くなります。



効果はどのくらい続くの？

効果が持続する時間は一般的に2～4時間前後です。
気温が下がる夜間や早朝の運転は注意してください。

冬みちドライブの注意点

- 凍結抑制剤散布後に、急な降雪や気温低下があると、効果が下がりますのでご注意ください。
- 四輪駆動車（4WD）は前に進む力は強いのですが、ブレーキ性能はFF車と同じです。過信は禁物です。
- スタッドレスタイヤはすり減りや経年変化で滑り止め効果が低減します。定期的なチェックを心がけましょう。
- 積雪・凍結時に道路上へ駐車すると、除雪や薬剤散布の作業ができなくなり、事故を引き起こす要因となります。違法駐車に気をつけましょう。